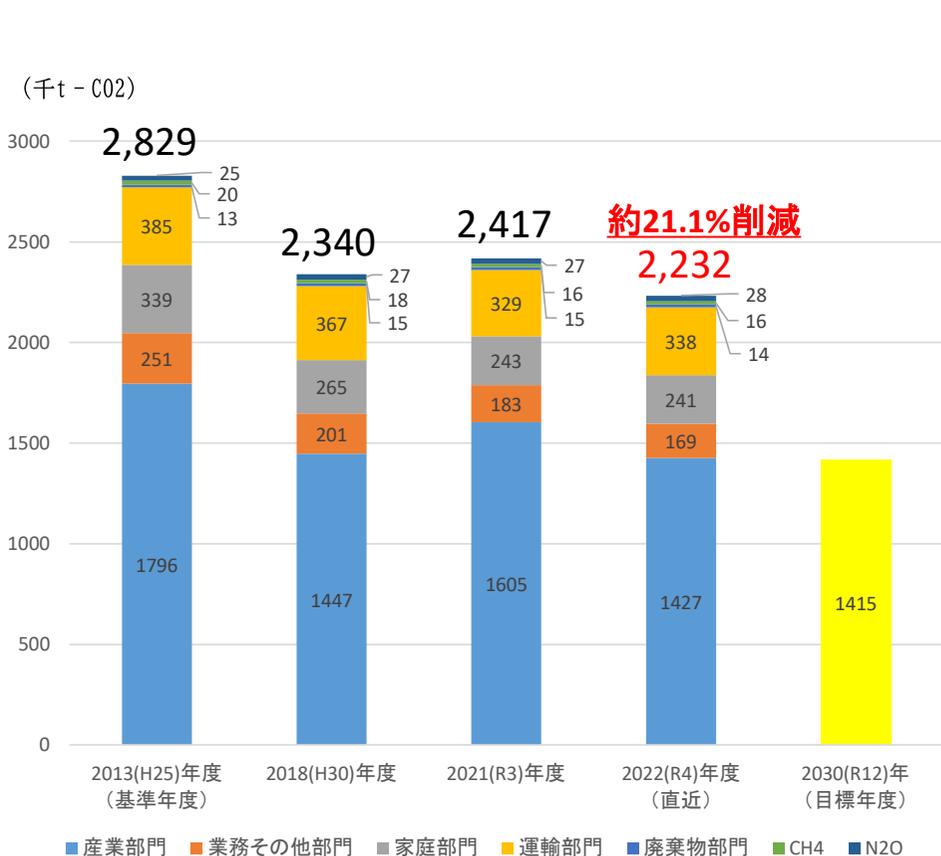


鈴鹿市全体の温室効果ガス排出量の進捗状況

- ・温室効果ガス排出量は、2013(平成25)年度の基準年度と比較し、約21.1%削減された。
- ・引き続き、省エネ・再エネ設備の導入促進等を県などの関係機関とともに事業者向け、家庭向けに進めていく。



年度		基準年度 2013	2018	2021	直近 2022	増減率	目標年度 2030(R1)	
産業部門	製造業	1,754	1,410	1,565	1,391	-20.7%		
	建設業・鉱業	15	11	12	11	-23.9%		
	農林水産業	26	26	27	24	-6.0%		
	小計	1,796	1,447	1,605	1,427	-20.6%		
業務その他部門		251	201	183	169	-32.9%		
家庭部門		339	265	243	241	-28.8%		
運輸部門	自動車	旅客	237	222	188	197	-16.8%	
		貨物	132	131	129	128	-2.7%	
	鉄道	16	14	13	12	-23.4%		
	小計	385	367	329	338	-12.3%		
廃棄物部門		13	15	15	14	10.5%		
二酸化炭素(CO2)排出量		2,784	2,295	2,374	2,188	-21.4%		
メタン(CH4)	廃棄物	2	2	2	2	16.2%		
	農業	10	9	8	8	-17.6%		
	畜産	8	7	6	5	-35.0%		
	小計	20	18	16	16	-21.2%		
一酸化二窒素(N2O)	廃棄物	2	2	2	2	12.8%		
	農業	5	6	7	7	30.1%		
	畜産	18	19	18	19	7.2%		
	小計	25	27	27	28	12.2%		
温室効果ガス排出量		2,829	2,340	2,417	2,232	-21.1%	1,415	

※CO2換算量の合計値は小数点第1位を四捨五入しています。

(出典 2022(R4)年度総合エネルギー消費統計など)